



(18)

(5) 表

(117 池田善文、8 八木 充)

院竹内亮両君の協力を得た。

なお木簡の整理には、国学院大学大学院石崎高臣・京都大学大学

五年間の中で、新しい時期に相当する。

(30)の天平二年は、長登出土の紀年木簡の時代幅、和銅四年—天平

丁などのほか、さらに広範に復原されることになった。

実態が明らかとなり、施設内の労働力の編成が、雇匠丁・雇丁や仕

丁などのほか、さらに広範に復原されることになった。

公麻田一町二段、その耕作にあたる事力が四人支給される規定であ

った。この木簡によると、事力の一部が銅の生産施設で使役された

というのであろうか。長門国の等級は当時上国(甲)と推定でき

(5)の付札の内容は、長門国少目の事力が<sup>〔庸カ〕</sup>米六斗を返送すると

の木簡が出土している(未報告)。

# 『木簡研究』在庫状況のお知らせ

## 頒価

一―四号 品切れ 五・六号 三五〇〇円

七―一二号 三八〇〇円 一三号 四三〇〇円

一四・一五号 四五〇〇円 一六―二〇号 五五〇〇円

## 送料

一冊 六〇〇円 二冊 八〇〇円 三冊 一〇〇〇円

四冊 一二〇〇円 五―一〇冊 一五〇〇円

一一―二〇冊 二〇〇〇円

※個人購入の場合は代金前納です。代金と送料は郵便振替で

〇一〇〇〇―六一五二七 木簡学会

までお送り下さい。

※大学・博物館など公的機関の場合は代金後納です。銀行振

込か右の郵便振替でお願いします。

口座番号 第一勧業銀行西大寺支店

口座名 普通預金 一一一〇三一五

木簡学会 佐藤宗諒(さとう そうじゅん)

連絡先 千六三〇―八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良国立文化財研究所

平城宮跡発掘調査部史料調査室気付

木簡学会

電話 〇七四二―三四―三九三二(内二三九)